

教員の養成の目標及び計画（短期大学部）

本学園の設立趣旨は、仏教精神を基調とした学校教育を行うところにある。仏教精神を体した質の高い人材を育成し、社会に有用な人材を輩出することを目指している。

本学では、大乘仏教の「平等」「寛容」「利他」の精神、すなわちあらゆるいのちの個性を尊重し、自己中心的なところを離れ、世のため人のために尽くすことに喜びを感じる人材の育成を目指しており、この精神を体した職員を多く輩出し、地域の学校教育に貢献することを願い教員養成に取り組んでいる。

<幼児教育学科第一部>

幼児教育学科第一部は、建学の精神にのっとり、社会に貢献できる教員（保育者）の育成を目的とし、その達成のため、次のような知識・技能・態度を備えた人材を養成している。①人文・社会・自然の分野に関する基礎的知識を身に付け、それらを現代社会の諸問題と関連づけて理解することができる。②保育者としての必要な専門的知識や技術を修得しており、次代を担う子どもたちの最善の利益を保障する視点でものごとを考えることができる。③保育の表現技術を身に付けており、子どもに必要な環境を提供し、遊びを展開することができる。④多様で急激に変化する社会状況の中で、保育に積極的にに関わり、他者との協調・共同も含めて、問題を解決することができる。⑤子どもを取り巻く諸問題への関心及び保育者としての使命感・責任感を持ち、学び続けることができる。⑥豊かな人間性を持ち、いのちを尊重し、高い倫理観を育み、自己の能力を社会に還元する強い志を持ち、社会人としての規範に従って行動できる。

<幼児教育学科第三部>

幼児教育学科第三部は、建学の精神にのっとり、社会に貢献できる教員（保育者）の育成を目的とし、その達成のため、次のような知識・技能・態度を備えた人材を養成している。①人文・社会・自然の分野に関する基礎的知識を身に付け、それらを現代社会の諸問題と関連づけて理解することができる。②保育者としての必要な専門的知識や技術を修得しており、次代を担う子どもたちの最善の利益を保障する視点でものごとを考えることができる。③保育の表現技術を身に付けており、子どもに必要な環境を提供し、遊びを展開することができる。④多様で急激に変化する社会状況の中で、保育に積極的にに関わり、他者との協調・共同も含めて、問題を解決することができる。⑤子どもを取り巻く諸問題への関心及び保育者としての使命感・責任感を持ち、学び続けることができる。⑥豊かな人間性を持ち、いのちを尊重し、高い倫理観を育み、自己の能力を社会に還元する強い志を持ち、社会人としての規範に従って行動できる。